

文化ホール及び公民館 内部評価結果 (施設所管課による評価)

【評価対象施設】文化ホール・公民館
【指定管理者名】株式会社 アステム
【評価対象年度】令和4年度
【施設所管課名】産業・文化部 生涯学習課

業務内容について評価

条例・協定書等に基づき、適切な管理・運営を行っています。

令和4年度は、芸術文化の向上、生涯学習の振興や市民の自主的な学習、活動のきっかけとなる事業の実施は、全51件であり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止・延期となった事業もありましたが、コロナ禍において新しい生活様式に対応しながら、無料開催の「陸上自衛隊中部方面音楽隊ファミリーコンサート」、ダンスチームに発表の場を提供する「第1回 DAITO U18 DANCE FESTIVAL2022」といった新規事業を実施しました。また、コロナ禍で2年間中止していた「公民館ふれあいまつり」「あわてんぼうハロウィン☆おたのしみデイ」を感染対策を実施しながら工夫を凝らして開催し、コロナ禍による制約がある生活に潤いをもたらすことができました。

音楽関係以外の新規、継続事業を積極的に実施することで、利用者の幅を広げることに繋がり、新たな利用者を生むきっかけとなっているため、可能な限りの継続的な実施をお願いします。

公民館において「手編み教室」の講座終了後にサークルが誕生したことを評価しています。引き続きサークル活動のさらなる活性化に向けて支援をお願いします。

今後も、新たなコンセプトを取り入れた取り組みや、対面でも在宅でも参加ができるような魅力的な事業の実施をお願いします。

施設の利用者合計については、令和3年度に比べ令和4年度は増加しています。(【文化ホール】R3:107,259人、R4:135,693人【公民館】R3:21,308人、R4:28,756人)稼働率については文化ホールが工事による休業期間があったものの横ばい、公民館は増加しています。(【文化ホール】R3:48%、R4:48%【公民館】R3:36.2%、R4:42.5%)

施設の管理運営について、老朽化しつつある施設・設備・備品に対し、修繕の優先順位をつけながら、利用に支障がないよう臨機応変に対応されており、評価しています。引き続き、安全・安心にご利用いただける管理運営をお願いします。

利用者満足度について評価

今年度の利用者アンケートについては、文化ホールでは回答のあったもののうち「満足」と「やや満足」を足すと、59%となった。また、「不満」と「やや不満」は2.2%であった。

公民館ではアンケート項目の全てで昨年度よりも満足度を表す割合が増加している。

「サークル会員募集」のお知らせを施設の掲示板で行うことで、入会者が増えたサークルもあり、利用者から喜びの声をいただいていることから、利用者のニーズを鑑みた事業を実施していることが伺えます。

開館から35年が経過し、施設の使いやすさや美観などについてもニーズ対応が厳しい状況となりますが、今後も豊富な経験とノウハウの発揮に期待します。

収支状況について評価

収入について、利用者減の影響により特に駐車場料金・自動販売機手数料が減収となっています。文化ホール大ホールの舞台設備機構修繕に伴う利用停止があり、その分の補填を行いました。

支出について、光熱費の削減のため利用者と協働してこまめな節電を実施していますが、電気・ガス料金の高騰により光熱費が増大しています。高騰分全額ではありませんが、光熱費高騰に係る指定管理者委託料の見直しを行いました。ただ、その分を加味しても今年度は収支が874万円の赤字となりました。今後も光熱費等の物価上昇が予想されますが、施設の利用促進及び魅力的な事業の実施により利用者の増加を図り、安定的な経営による更なるサービス向上の実現を期待します。

総合評価

事業面で、コロナによる中止があったものの、積極的に新規事業を行ったり、従来実施していた事業をコロナ禍でも問題なく開催できるよう、創意工夫して実施されていること、また、コロナの感染状況を見ながら事業内容を変更する等、柔軟に対応いただいていることを評価しています。

総合文化センターは、文化ホールと公民館との複合施設であり、その役割は、市民のニーズを踏まえながら、質の高い舞台芸術を提供することと、市民自身の文化・芸術活動を育む環境を提供することにあります。引き続き、新しい生活様式に対応した、利用者に喜ばれる施設運営をお願いします。